



「飛びだすビルド!のワークショップ」HPより

# 仙台のワークショップ『飛びだすビルド!』の “被災地の子と私たち”に『文房具』が届きます”チャリティー にエールをおくりします!!

呼びかけ人 / 元湘南よちよちらんど園長 山田泰子

このたびの東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、また被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。

私は、藤沢駅北口で託児所を15年間続けてまいりました。

長い時間を子供たちと過ごして来た者として、被災された子供たちのために「何かしなくては」「何かできるのだろう」と考えていましたところ、仙台で被災した友人から、自らも講師をしている“出張ワークショップ 飛びだすビルド”による「被災した子供たちへの文房具チャリティー」活動のことを聞きました。

私は「飛びだすビルド!」のホームページを観て『まずは子供たちとともに元気になり、元気にたちあがります』という言葉に共感し、「そうだ、私もこれに参加すべき」と思いました。

さっそくそのことを、友人に「なにかお手伝いできないでしょうか」とたずねましたところ、あらためて「自分も含め講師の仲間たちも事務局自体も被災していて、なかなか活動は大変だけれど進めていきたいこと、そして活動は長い期間つづけていくことになること、そうしたことをふまえると、子供たちにおくる文房具は沢山必要であること」など、現状と気持ちを語った上で、私に「お願いできるなら、支援の窓口として文房具を集めていただき、仕分けをしてもらった上で、一括して送ってもらえると嬉しい」という返事をもらいました。

「とびだすビルド!」の詳しい活動内容につきましては、このあと、ホームページの告知内容を抜粋、ご紹介いたしますが、ひとりでも多くの方々にこの活動をご理解いただき、私たちからも「文房具の提供窓口としての支援」へのご協力をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

被災地で頑張っている方々に、たくさんの支援、熱いエールをいっしょに送りませんか

「とびだすビルド！」は、芸術・文化活動への寄付を行う企業や個人への、税制上の優遇措置が受けられる「助成認定制度」を特定公益増進法人「企業メセナ協議会」から認定を受けている団体です。

次に「とびだすビルド！」の活動内容、「被災した子供たちへの文房具チャリティー活動」に関する部分をホームページから抜粋、ご紹介いたします。

## 「飛びだすビルド！」のワークショップ “被災地の子どもたちに「文房具」を届けます” (3月30日 記事)

この度の東北関東大震災で被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地すべての一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。事務局となるビルドスペース（塩竈市港町）も津波の被害に合いました。

スペースの復旧作業に励むとともに、宮城県在住のアーティスト講師らも被災者の一員として被災地の皆様に私たちができることを行いたいと思います。

まずは子どもたちと共に元気になり、元気に立ち上がる。そこから始めたいと思います。“飛びだすビルドのワークショップ”では、東北地方太平洋沖地震の被災地支援のため、「文房具の募集」を行っております。皆様から寄せられた文房具は全て、避難所の子ども達への無料配布や、被災地域で開催する子供向けワークショップの教材として使用させていただきます。

皆様方のご賛同とご支援よろしくお願い致します。

それでは、活動をご理解いただき、ご協力いただける方々に支援内容をご案内します。

**募集中の文房具：**色鉛筆・クレヨン・カラーマジックペン・  
スケッチブック・えんぴつ削り

一度使用したものは、状態の良いものに限り送ることといたします。ご了承下さい。

**受付期間：**4月末日

**文房具をお送りいただく受付・郵送先：**

〒251-0024 藤沢市鵜沼橋 2-10-15 世話人 山田信幸 まで

かならず、上記住所までお送り下さい。私たちが責任を持って「飛びだすビルド！」までお送りいたします。

活動している方々も被災されています。くれぐれも直接送ることはご遠慮願下さい。重ねてよろしくお願いいたします。